陸上運動　走り高跳び

○慣れの運動から、スタディタイム、課題別練習まで、高跳びに必要な感覚や技能、知識を身に着けられる流れがあった。
○高跳びに関する技能分析が正確にされていて、高く跳ぶために必要な場を準備することができていた。
○肯定的かつ、具体的な言葉かけにより児童の運動技能が確実に高くなっていった。
○学習カードを使い、振り返りの時間を充分に確保することによって、感覚的な技能を知識として身に着けることができていた。

令和6年5月24日　6年1組　志賀教諭